

令和４年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 個性・適性・能力を生かして幅広く社会で活躍できる人材育成を目指し、無理をせず自分のペースに合わせて学習できる学校
- 1 通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムを提供する。

2 自他の個性を認め合い、人権を尊重し、支え合い、安心して学べる学校。

3 自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓き、社会に貢献できる人材を育成する。

2 中期的目標

- 1 通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムの構築
- (1)通信制における教育の指導内容・指導形態・評価方法等について実践的に研究を行い、研究授業、校内研修等を通して学習指導の改善・充実を追求する

(2)ICT を活用した教材の研究、学習支援を拡充する

① 学習指導、生活指導、進路指導、人権指導を客観的に検証し、学内運営に反映

② 教育振興基本計画、大阪府私学課の方針に基づいた通信制の機能強化について、関係団体との協議および学内検討による整備の継続
- 2 自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の育成とその実現に向けた教職員の資質向上
- (1)基礎的・基本的な学力の定着をめざした教育課程の検討・編成

(2)生徒一人ひとりの学力を伸長させ、単位修得率、卒業達成率を向上させる

① 生徒の意欲を向上させる分かりやすいスクーリング指導やきめ細かい個別のレポート添削指導の検討・確立

② 個々の生徒の状況を組織的・継続的に把握し、根気強い学習支援とサポート体制を確立する

(3)生徒の状況に合わせた多様な学習スタイルの検討・導入

① 基礎学力不足の生徒に対するさらなる学習支援策の検討・確立

② さまざまな入学動機や学習歴を持つ生徒、学校不適応の生徒など、多様な生徒等のサポート体制、学習スタイルの研究、改善、実施

③ 文部科学省「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」を踏まえ、スクーリングに出席が困難な生徒のサポート体制の確立

④ 卒業後の進路選択に向けた指導と支援策の検討・確立

(4)人権尊重の教育の推進

① 3年間を見通した人権教育計画の策定と実施

② 人間としての在り方や生き方を考えさせるとともに、思いやりの心を育み人権尊重の精神を育てる

③ 人権問題に関する認識を深め、課題解決のために主体的に考え、判断できる能力を育てる

(5)教職員研修の充実

① 教職員の校外研修への積極的な参加や校内研修等の充実を図る

② 人権研修等を計画的に実施し、確かな人権感覚の充実を図る

③ 通信制教育への理解を深め、本校の通信制教育のさらなる充実を図る

3 生徒支援と相談体制の強化・充実

(1)生徒及び保護者との面談・懇談の実施並びにサポート体制の充実

(2)生徒一人ひとりの状況を把握し、職員間で共有することにより、一層適切にサポートする体制をつくる

(3)要配慮生徒をはじめとする生徒情報の収集と共有を通して危機管理体制を強化する

(4)疾病や障がい等の教職員研修会を実施し、生徒理解を深める

(5)臨床心理士やスクールカウンセラー等との連携、福祉・医療等の外部機関との連携

4 卒業後の進路を見据えたキャリア教育・進路指導の充実

(1)生徒一人ひとりの適性に応じたキャリア教育・進路指導の実施

(2)就職及び進学指導における「進路の手引き」の効果的活用

(3)3年間を見通した「進路指導計画」の策定による体系的・継続的な進路指導の実施

(4)「進路希望調査」の実施による進路意識の向上及び希望進路の早期把握と支援

(5)就職希望者及び進学希望者に対する丁寧かつ細やかな進路指導と支援

5 情報発信・学園広報活動の充実

(1)情報発信の充実

① 学校ホームページ、学生証アプリ「ガブリ」(プッシュ通知)、学校、担任からの通知内容の充実

② インターネットを活用し、学習の進捗状況を「マイページ」より発信

③ 在籍生徒の出身学校への状況報告

(2)学園広報活動の充実

① 学校説明会、入学前個別相談、学校ホームページの充実

② 外部相談会への参加

③ 各種媒体への掲載

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析[令和4年3月実施分]	学校評価委員会からの意見
○生徒・保護者アンケート ・一般コース生(5人)カスタマイズコース生(12人)、計17人で令和4年3月に実施。 ○教職員アンケートの分析・教職員22人に関して、令和4年3月に実施。 【分析概要】 令和3年度における教職員向け学校評価アンケート「教員間、教科間の相互理解に基づいた教育活動が行われているか」の肯定率100%と「運営組織や意思決定組織は規則等において明確化されているか。また、会議は有効に機能しているか」の肯定率の間が85%と昨年度よりさらに低くなった。次年度は通信制課程という特殊な状況の中、職員会議をはじめ各種会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能するよう、会議の持ち方についても検討していきたい。 開校直後に新型コロナウイルス感染による影響が未だある中ではあるが、その分、オンラインスクーリングの充実などの整備が整ってきている。生徒においても、オンラインスクーリングの定着は、対面スクーリング、放送視聴だけではなく、選択できるようになってきており、幅広く多様な生徒に対して授業保障ができるようになってきている。今後もハイブリット授業として継続することし通信制高校の特徴を最大限に活かすことができるものとなった。 また、学園広報活動及び生徒募集について、引き続き検討と改善が必要である。	今回のアンケート集計結果及び学校関係者委員のメンバーの意見を頂き、今後の学校運営、また教育の在り方について考え、以下の通り報告します。 通信制という特殊な学校での教育課程の準備も大変だとは思いますが、大阪府に認可された通信制高校として生徒一人ひとりに寄り添った、社会に開かれた教育課程を作り上げていただければと思います。 学校の窓口である事務局の対応や、学校からの行事予定及び案内、通知がきちんとなされていることについて高い評価を得ることができています。生徒一人ひとりに寄り添った教育を実施するうえで保護者との連絡は非常に重要であり、その結果このような評価をいただいたことは大変喜ばしい。引き続き丁寧で誠実な対応を期待します。 しかし、一方で「魅力的な部活動がある」に対しての評価が低かった。個人生生徒数がまだ少ないことから、部活動結成までには至らないかもしれないが、学校生活の中で学習面だけでなく魅力ある部活動作りなども検討する必要があると思われます。 ICTの活用(ハイブリット授業・タブレット学習等)を考えておられるのは、これから先の事を思うと方向性は良いと思います。 この他、多様な背景をもつ生徒への配慮やカウンセリングルームについて一定の評価はいただいているが、さらなる理解促進へ向け、保護者、生徒に周知徹底する必要があると思います。 生徒募集については、今年度、後期にはじめて中学校訪問を実施したことは評価したい。しかしながら、まだ学校の認知度などは低いと思われます。その点が、学校説明会及び入学前個別相談等の来校者が出願に結びついていないと考えられるため、学校の魅力あるコースや学習内容、システムのさらなる改善とともに、既存の魅力をどのように周知できるかの課題であると考えます。新入生に限らず、転・編入生にも本校を選択してもらえるような努力と実行力が必要。 来年度以降も教職員全体で生徒のこと、生徒の未来を第一に考え、学校生活を含め将来を見据えた教育を目指すことを願います。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムの構築	(1)通信制における教育の指導内容・指導形態・評価方法等について実践的に研究を行い、研究授業、校内研修等を通して学習指導の改善・充実を追究する	・通信制高等学校の適正化を求める声が高まる中、学習指導要領に基づき、教科・科目の教育目標達成に向けて教育活動を展開する。	・学校評価アンケートでの「教育理念・目標は定められているか」肯定率70%以上をめざす。	・「教育理念・目標は定められているか」肯定率85%ではあるが、さらなる徹底を望む。
		・研究授業・校内研修の実施。	・学校評価アンケートでの「ガイドラインに沿った教育指導等の特色は定められているか」肯定率70%以上をめざす。	・「ガイドラインに沿った教育指導等の特色は定められているか」肯定率100%ではあるが、さらなる徹底を望む。
	(2)ICTを活用した教材の研究、学習支援を拡充する	・GIGA スクール構想を踏まえつつ、学習意欲を喚起し計画的な学習に努めさせるとともに、ICTを活用した面接指導(対面・オンラインスクーリング)や基礎学力を伸ばすための有効な報告課題(レポート)の研究や開発を行う。	・オンラインでも学習の量と質を低下させることがないよう十分配慮している。	・入学はするが、少ないスクーリング日数であったとしても登校困難で学習を継続できない生徒がいる。また、学習を継続している生徒においても基礎学力が定着していない生徒もいる。
		・家庭においてメディア学習を希望する生徒に対し多様なメディア教材(NHK高校講座、インターネット講座)提供をする。	・タブレット学習準備委員会を立ち上げ開発・準備を開始し、令和4年度より導入を目指す。	・コロナ禍での学習を保証するためオンライン授業研修(校内・WEB研修)実施した。
			・報告課題において学習の成果・進捗状況を把握する。	・オンラインでの研究授業を実施した。
				・委員会を開催し準備が進んでいる。
				・インターネット講座は、教科書の内容を一つひとつ解説する動画をしており、高等学校教育としての水準の確保に十分配慮している。

東朋学園高等学校 通信制課程				
2 自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の育成とその実現に向けた教職員の資質向上	(1) 学び直し、基礎的な学力の定着をめざした教育課程の検討・編成	・令和4年度に向け学び直しができる教科・科目を増やし開設等を検討する。 ・教科・科目横断的な学校設定科目の開設に向け検討を進める。	・教育課程検討会、学校設定科目案の作成会を開催。（令和3年度 前期2回、後期2回）	・開催回数を十分確保できなかったのは、コロナ禍での学習を保証するため急遽オンラインでのスクーリング準備に時間がかかった。 ・新教育課程に向けて準備・検討が進んでいる。
	(2) 生徒一人ひとりの学力を伸長させ、単位修得率、卒業達成率を向上させる	・レポートを計画的に提出できるよう、全科目受講要項を作成し単位認定までのスケジュールを書き、自主的かつ計画的にレポートに取り組めるようにした。	・学校評価アンケートでの「卒業までの教育計画が生徒・保護者にわかりやすい」肯定率 70%以上をめざす。	・自主的・計画的にレポートに取り組むように担任を中心に指導しているが、今後はさらに年間を通して継続的に取り組むように多方面から指導していきたい。 ・「卒業までの教育計画が生徒・保護者にわかりやすい」肯定率 80%であった。
	(3) 生徒の状況に合わせた多様な学習スタイルの検討・導入	・半期ごとにコース変更ができるよう柔軟に対応する。 ・対面とオンラインでのハイブリット授業導入を検討。	・学校評価アンケートでの「所属しているコースに満足している」肯定率 70%以上をめざす。	・「所属しているコースに満足している」肯定率 92%。 ・通信型クラスのオンライン授業も定着しつつあり、全体の受講率はあがっている。
	(4) 人権尊重の教育の推進	・3年間を見通した人権教育計画の策定 ・ホームルームや特別活動で人権問題に関する認識を深めた。	・思いやりの心を育み人権尊重の精神を育てる。	・外部講師を招く予定であったが、コロナ禍のため、別の形で生徒向けに実施。
	(5) 教職員研修の充実	教員は各領域や興味関心の高い分野の研修に参加している。今年度もオンラインによる研修会への参加が多かった。	・学校評価アンケートでの「教職員の資質向上に向けた研修の充実が図られているか」肯定率 70%以上をめざす。	・外部研修の参加や外部講師を招いて実施する予定であったが、コロナ禍のため中止やオンラインとなり十分ではなかった。
3 生徒支援と相談体制の強化・充実	(1) 生徒及び保護者との面談・懇談の実施並びにサポート体制の充実	・担任と保護者が懇談する機会を持ちやすくし、学校と保護者が認識を共有しながら、効果的なサポートを行えるようにする。	・学校評価アンケートでの「学校あるいは担任と保護者、生徒との連携が来ているか」肯定率 70%以上をめざす。	・「学校あるいは担任と保護者、生徒との連携が来ているか」肯定率 100%であった。
	(2) 生徒一人ひとりの状況を把握し、職員間で共有することにより、一層適切にサポートする体制をつくる	・生徒理解を深めるため、必要に応じて面談を設ける。また、履修登録時にも適宜面談をし、生徒の自己実現の支援に努める。	・学校評価アンケートでの「悩みを受け止め適切なアドバイスをしてくれる先生がいる」肯定率 70%以上をめざす。	・限られた登校日では、新入生・転入生・編入生ともに、体調や学習状況、進路希望に加え、いじめ等に関する情報を正確に知ることは難しい。 ・「悩みを受け止め適切なアドバイスをしてくれる先生がいる」肯定率 80%以上であった。
	(3) 要配慮生徒をはじめとする生徒情報の収集と共有を通して危機管理体制を強化する	・中学校からの引継ぎ事項、健康調査、必要な生徒に対しての担任が行う面談等を通して生徒が抱える諸問題を明らかにし、教職員で共有する。	・学校評価アンケートでの「多様な背景をもつ生徒への配慮は適切になされている」肯定率 70%以上をめざす。	「多様な背景をもつ生徒への配慮は適切になされている」肯定率 100%であった。
	(4) 生徒理解を深めるため、疾病や障がい等の教職員研修会を実施する、	・関連する研修を開催し、生徒の疾病や障がい等に対する知識を深め、個々に応じた保健指導や生徒指導に活かす。	・学校評価アンケートでの「生徒に対する健康面での対応は適切になされている」肯定率 70%以上をめざす。	「生徒に対する健康面での対応は適切になされている」肯定率 100%であり目標に到達できていない
	(5) 臨床心理士やスクールカウンセラー等との連携、福祉・医療等の外部機関との連携	・本校生を担当している専門医やスクールカウンセラー等との連携を強化し、生徒支援を充実する。	・学校評価アンケートでの「スクールカウンセラーの配置、部屋の設置など適切である」肯定率 70%以上をめざす。	「スクールカウンセラーの配置、部屋の設置など適切である」肯定率 67%であった。

東朋学園高等学校 通信制課程				
4 卒業後の進路を見据えたキャリア教育・進路指導の充実	(1) 生徒一人ひとりの適性に応じたキャリア教育・進路指導の実施	・生徒一人ひとりにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる授業を開設する。	・学校評価アンケートでの「将来の職業や生き方を考えるような機会を設けている」肯定率 70％以上をめざす。	・「将来の職業や生き方を考えるような機会を設けている」肯定率 76％であった。
	(2) 就職及び進学指導における「進路の手引き」の効果的活用	・進路希望実現のための情報を提供し、効果的に活用する。	・学校評価アンケートでの「東朋学園の教育は将来に役立つものである」肯定率 70％以上をめざす。	・「東朋学園の教育は将来に役立つものである」肯定率 97％であった。
	(3) 3 年間を見通した「進路指導計画」の策定による体系的・継続的な進路指導の実施	・ホームルームや特別活動を活用し、進路について計画的な指導を実施。	・「進路希望調査」全員を対象とし 100％回収する。	・100％回収し希望進路の早期把握ができ、サポートすることができた。
	(4) 「進路希望調査」の実施による進路意識の向上及び希望進路の早期把握とサポート	・前期1回・後期1回)「進路希望調査」を実施し、希望進路を早期に把握することで、サポート体制を整える。	・各対象の説明会等に確実に参加を促す。 ・個別に進路指導日時を指定しサポートをする。	・ほぼすべての対象者が参加することができた。 ・外部の合同相談会にも参加することができた。 ・個別に会社見学の引率及び進路指導を実施できている。
	(5) 就職希望者及び進学希望者に対する丁寧かつ細やかな進路指導と支援	・進学希望者対象説明会等の実施 ・進学希望者対象奨学金説明会等の実施 ・就職希望者対象説明会等の実施 ・求人票閲覧会の開催 ・会社見学の引率		
5 情報発信・学園広報活動の充実	(1) 情報発信の充実	・学校ホームページにおいて新着情報を効果的に更新し、生徒・保護者への情報提供の充実を図る。 ・本校の学習システム及び通信制教育を理解できる学校ホームページを作成し、常に情報を更新する ・学生証アプリ「ガブリ」(プッシュ通知)を活用し、学校、担任から生徒・保護者への積極的な情報発信を行う。	・学校評価アンケートでの「東朋学園のホームページは充実している」肯定率 70％以上をめざす。	「東朋学園のホームページは充実している」肯定率 89％であったが、コロナ禍のため生徒の活動に制限がある中、より十分な情報発信が求められる。
	(2) 学園広報活動の充実	・インターネットを活用し、マイページより生徒各自の履修状況情報の内容を随時確認できるよう充実させる。 ・在籍生徒の状況報告を積極的に出身学校へ訪問し実施する。 ・学校説明会(年間4回)、入学前個別相談(随時)来校者の増加を目指し、出願に導く。	・学校評価アンケートでの「学校からの行事予定、案内、通知はきちんとなされている」肯定率 70％以上をめざす。 ・入学前個別相談者を出願に結びつける。 ・大阪府内での外部相談会は積極的に参加した。	・「学校生活に必要な情報を適切に発信してくれる」肯定率 97％となる。主に、学生証アプリ「ガブリ」が確実に機能している。 ・マイページ活用が十分ではなく、今後の課題である。 ・生徒募集ふくめ、後期には大阪府内の中学校訪問を実施。生徒の状況も伝えることができた。年1回にとどまらず、更なる訪問も視野に入れるべき。
		・外部相談会へ積極的に参加し、来校者増を目指す。	・各回の学校説明会参加者の 10～20 名を目指す。 ・入学前個別相談者を出願に結びつける。	・学校説明会参加者合計は 43 名。各回では 10 名に満たないときもあるが、昨年度からの参加増は学校訪問が一つのきっかけになっていると思われる。 ・入学前個別相談参加者合計は 175 名(新入・転編入・重複回数含)で昨年度を大きく上回ったが、入学率は低い。個別見学で一切の学校の魅力をさらに伝えることが、今後の課題。
		・各種媒体への掲載を積極的に行う。	・各種進学情報誌への掲載。 ・不定期に新聞、フリーペーパー、交通機関広告を利用し学校の認知度アップを目指す。	・外部相談会での本校ブース来場者は約 270 組と昨年度より増加している。他校も視野に入れたブース来場の為、ブースに来ていただいた相談者が入学説明会、個別相談に結び付けられるかが今後の課題。 ・各種媒体への掲載により、資料請求者の増加につながった。

4 学校教育評価の分析

(アンケート評価基準) 5.そう思う 4.ややそう思う 3.どちらでもない 2.あまり思わない 1.全く思わない

	5	4	3	2	1
1. 東朋学園高等学校は(予想通り・期待通り)自分に合った高校だった	56%	44%	0%	3%	0%
2. 東朋学園高等学校の学校生活を有意義に送っている	58%	31%	25%	31%	25%
3. 所属しているコースに満足している	67%	25%	8%	3%	0%
4. スクーリングを受ける態勢ができている	58%	31%	8%	6%	0%
5. 興味関心のある授業が多く開講されていて、他の高校にない特色がある	25%	25%	44%	8%	0%
6. 教科担当は「わかりやすい」授業をするよう工夫している	67%	28%	8%	0%	0%
7. 卒業までの教育計画は保護者、生徒にわかりやすいものになっている	42%	44%	8%	8%	0%
8. 魅力的な部活動がある	11%	11%	47%	25%	8%
9. 先生の指導やアドバイスは、人権尊重に基づいた適切なものである	69%	25%	6%	3%	0%
10. 生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる先生がいる	56%	33%	11%	3%	0%
11. 東朋学園高等学校の生徒に対する健康面での対応は適切になされている	61%	31%	8%	3%	0%
12. 学校からの行事予定、案内、通知はきちんとなされている	78%	14%	8%	0%	0%
13. 事務所窓口での対応や電話対応は丁寧・誠実になされている	86%	8%	8%	0%	0%
14. 生徒が将来の職業や生き方を考えるような機会を設けている	50%	28%	22%	3%	0%
15. 教職員全員が保護者あるいは生徒の相談に適切に対応している	58%	33%	6%	3%	0%
16. 防犯面・安全面の管理が行われていて、安心して学校生活が送られている	58%	36%	6%	0%	3%
17. 教室その他、施設は清潔であり、必要な施設・設備が整っている	92%	3%	6%	3%	0%
18. 暴力・暴言等のいわゆる「いじめ行為」を受けたことがない	97%	6%	0%	0%	0%
19. 多様な背景をもつ生徒への配慮は適切になされている	75%	22%	3%	0%	3%
20. スクールカウンセラーの配置、部屋の設置など適切になされている	50%	17%	33%	3%	0%
21. 東朋学園高等学校のホームページは充実している	42%	47%	11%	3%	0%
22. 学校生活に必要な情報を適切に発信してくれる	72%	25%	3%	0%	0%
23. 東朋学園高等学校の教育は将来生徒たちに役立つものとなっている	47%	50%	6%	0%	0%

5 学校教育自己評価の分析

(アンケート評価基準) 5.そう思う 4.ややそう思う 3.どちらでもない 2.あまり思わない 1.全く思わない

	5	4	3	2	1
1. 本校の教育理念・目標は定められているか	70%	15%	15%	0%	0%
2. 通信制高校ガイドラインに沿った教育指導等の特色は定められているか	69%	31%	0%	0%	0%
3. 運営組織や意思決定組織は規則等において明確化されているか。また、会議は有効に機能しているか。	54%	15%	31%	0%	0%
4. 教育理念や社会のニーズに対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	62%	31%	7%	0%	0%
5. 教員間、教科間の相互理解に基づいた教育活動が行われているか	62%	31%	7%	0%	0%
6. 教員と事務職員間の連携が図られているか	69%	23%	8%	0%	0%
7. 高校卒業後の進路選択に向けた教育支援が体系的に位置づけられているか	54%	38%	8%	0%	0%
8. 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	85%	8%	7%	0%	0%
9. 学校あるいは担任と保護者、生徒との連携が出来ているか	92%	8%	0%	0%	0%
10. 多様な背景をもつ生徒への配慮は適切になされているか	92%	8%	0%	0%	0%
11. 生徒指導は適切に行われているか	69%	23%	8%	0%	0%
12. 生徒の健康管理についての対応は適切になされているか	92%	8%	0%	0%	0%
13. 退学率の低減が図られているか	62%	31%	7%	0%	0%
14. 学校のホームページは活用されているか	85%	15%	0%	0%	0%
15. 学校の施設・設備は安全に管理されているか	85%	15%	0%	0%	0%
16. 学校の情報公開はきちんとなされているか	77%	23%	0%	0%	0%
17. 関係法令及び設置基準などの法令遵守と適切な運営がなされているか	69%	8%	15%	8%	0%
18. 人事、給与に関する規定等は整備されているか	77%	15%	8%	0%	0%
19. 財務について会計監査が適切に行われているか	77%	15%	8%	0%	0%
20. 財務情報公開の体制整備はできているか	62%	23%	15%	0%	0%
21. 個人情報に関し、その保護の為の対策が取られているか	77%	15%	8%	0%	0%
22. 教職員の資質向上に向けた研修の充実が図られているか	46%	38%	8%	8%	0%
23. 他校種・関係機関等との連携が図られているか	46%	46%	0%	8%	0%